

## 第9章 市民病院

病院総務課

本院は、昭和43年に設立され、市民や地域住民の求める良質かつ高度な医療の提供と増進に努めてきた。また、平成22年4月には地方公営企業法全部適用に移行し、経営責任を明確にするため、病院事業管理者を設置した。

本院では、「安全と信頼」の基本理念のもと、平成20年11月に策定した「平塚市民病院将来構想」に基づき、健全な病院運営と診療機能の充実に取り組み、良質な医療サービスを継続的に提供するよう努力するとともに、地域の中核病院として医療連携を推進し、地域に根ざした医療の提供と医療事故の根絶に努めてきた。あわせて、老朽化した南館に代わり新館の建設をはじめとする平塚市民病院整備事業を推進し、平成28年5月には、新館での診療を開始した。

なお、「平塚市民病院将来構想」の計画期間の終了に伴い、現状の医療制度、地域特性及び経営状況を踏まえ、平成29年度からの新たな計画である将来構想「平塚市民病院 Future Vision 2017-2025」を策定するとともに、新たな理念、基本方針を掲げ、良質な医療の提供とともに企業体として高度に収支バランスが取れた病院経営体制を構築することとしている。

### 1 業務量（平成28年度）

（単位 人）

区 分	入 院		外 来	
	延 患 者 数	1 日 当 たり	延 患 者 数	1 日 当 たり
4 月	11,293	376.4	19,059	953.0
5 月	10,368	334.5	17,340	912.6
6 月	10,852	361.7	20,252	920.5
7 月	11,055	356.6	18,847	942.4
8 月	11,047	356.4	19,427	883.0
9 月	10,744	358.1	18,945	947.3
10 月	10,992	354.6	19,015	950.8
11 月	10,787	359.6	18,275	913.8
12 月	10,414	335.9	18,400	968.4
1 月	10,408	335.7	17,455	918.7
2 月	10,067	359.5	17,689	884.5
3 月	10,956	353.4	19,897	904.4
計	128,983	353.4	224,601	924.3
前年度	132,337	361.6	239,633	986.1
比較増減	▲ 3,354	▲ 8.2	▲15,032	▲61.8

### 2 職員数（平成29.3.31現在）

（単位 人）

職 種		職 員 数	職 種		職 員 数
医 師		91	看 護 師	看 護 師	317
医 療 技 術 員	薬 剤 師	20		准 看 護 師	0
	放 射 線 技 師	24	助 産 師	22	
	臨 床 検 査 技 師	28	事 務 員		42
	栄 養 士	5	そ の 他		6
	理 学 療 法 士	8	計		579
	作 業 療 法 士	4			
	言 語 聴 覚 士	2			
	臨 床 工 学 技 士	9			
視 能 訓 練 士	1				

### 3 収入・支出

#### (1) 収益的収入及び支出

収 入			支 出		
科 目	決 算 額	構 成 比	科 目	決 算 額	構 成 比
	円	%		円	%
病院事業収益	11,908,819,819	100.0	病院事業費用	12,656,646,098	100.0
医 業 収 益	10,347,421,730	86.9	医 業 費 用	12,285,551,733	97.1
医業外収益	1,402,401,342	11.8	医業外費用	213,267,835	1.7
特別利益	158,996,747	1.3	特別損失	157,826,530	1.2

#### (2) 資本的収入及び支出

科 目	決 算 額	構 成 比	科 目	決 算 額	構 成 比
	円	%		円	%
資本的収入	5,649,570,500	100.0	資本的支出	3,128,033,478	100.0
企 業 債	5,477,300,000	96.9	建設改良費	2,525,362,550	80.7
負 担 金	163,821,000	2.9	企業債償還金	561,275,655	17.9
補 助 金	0	0.0	差入保証金	3,214,800	0.1
貸付金返還金	4,857,500	0.1	職員貸付金	36,770,000	1.2
差入保証金返還金	3,592,000	0.1	補助金返還金	1,410,473	0.1

### 4 器械備品等整備状況

注射薬セット自動化システム	デジタルイメージングシステム	人工呼吸器
セラビーム(紫外線治療器)	内視鏡システム	高精度線量計
全自動総合血液ガス分析装置	X線テレビ装置	超音波診断装置
ビデオラパロスコープセット	大腸ビデオスコープ	乳房X線撮影装置
インピーダンスオージオメーター	HOLEPシステム	リニアック(高精度放射線治療装置)
マルチスライスCT装置 (320列1台、64列2台)	超音波白内障手術装置	人工心肺システム
I VR-CT装置	中央監視装置一式	手術用顕微鏡
心血管アンギオグラフィシステム	デジタルガンマカメラ	X線骨密度測定装置
マルチカラーレーザー光凝固装置	磁気共鳴断層撮影装置(MRI)	その他
全身麻酔ワークステーション	I AB P駆動装置	

## 5 平塚市民病院整備事業

平成18年2月に、病院施設（昭和56年以前に建設された南棟・管理棟・旧看護師宿舎）の耐震診断の結果を受け、平成18年7月に将来構想策定と南棟に替わる新棟建設を行うことを公表した。

「平塚市民病院将来構想」は、同年11月に設置された「平塚市民病院将来構想策定委員会」が作成した案に、国から示された「公立病院改革ガイドライン」の内容を反映させ、パブリックコメント等を経たうえで平成20年11月に策定した。

「平塚市民病院将来構想」の策定と同時に「平塚市民病院整備事業」を開始し、平成21年5月から「平塚市民病院整備事業設計業務公募型プロポーザル」の手続きを進め、平成21年9月に設計業務委託契約を締結した。翌10月から設計業務を開始した。

平成22年度は、開発に関する協議や景観審議会の意見などを反映させながら、引き続き基本設計作業を行った。また、同年11月から12月にかけて、基本設計（案）の概要に対するパブリックコメントを実施した。

平成23年度は、7月に基本設計を完成させた。新棟は、鉄筋コンクリート造、地上6階地下1階、延べ面積18,527㎡の免震構造の建物とし、救急センター、手術室、集中治療室、小児周産期センターなどの高機能部分を集約させた。また、まちづくり条例に基づく周辺住民説明会を開催して事業内容を周知し、前段工事であるオイルタンク移設や仮設棟建設などに着手した。

平成24年度は、オイルタンク移設工事、旧看護師宿舎仮設改修工事、仮設救急棟・保育所棟建設工事を完了させた。同年12月に仮設救急棟と保育所棟を稼働させ、旧救急棟・旧管理棟・旧保育所棟の解体工事に着手した。また、新棟建設中のバスロータリー機能を移転させるための仮設バスロータリー工事に着手した。

平成25年度は、新棟建築工事（建築・電気・機械）の契約を締結し、工事に着手した。また、既存棟（管理棟・救急棟・保育所）解体工事と仮設バスロータリー工事が完了した。

平成26年度は、新棟建築工事（建築・電気・機械）の工事を進め、地上階躯体工事、内装工事、電気・機械工事を行った。

平成27年度は、新棟が竣工した。

平成28年度は、新棟で診療を開始した。引き続き北棟改修工事と仮設管理棟耐震補強工事に着手した。平成28年度末現在、新棟を新館、北棟を本館、南棟を南館と呼称を変更した。